

# 適正服薬事業の実施

## - ポリファーマシー対策通知のご案内 - 重複・多剤投薬是正の取り組みを始めます

### 不適正な服薬「ポリファーマシー」とは……

不適正な服薬について語られる際、もっともよく言及されるのが「ポリファーマシー」です。ポリファーマシーとは、多くの薬を併用しているために患者自身や医師・薬剤師が服薬状況を管理しきれず「薬物有害事象」等が生じてしまう状態をいいます。

### 薬物有害事象とは……

薬物有害事象とは、多剤服用のために薬が効きすぎたり、効きにくなったり、副作用が生じたりすることです。薬物有害事象は新たな病状と誤って認識されるケースもあり、さらに新たな薬で対処してしまう悪循環につながりかねません。

### ポリファーマシー対策通知

薬を複数又は長時間飲むことで起こる有害事象を防止するために必要な対策を医療機関等に判断いただくため、通知対象者は、ポリファーマシー対策通知をかかりつけ病院や薬局にお渡しいただきます。



ナッジ理論を活用した表面デザインを用いることで  
「自分ごと化」を促進し、紙面を読みたくなる  
デザインとしています。

お薬手帳では把握できない  
傷病名及び検査値に係る禁忌も掲載することで、  
異なる医療機関での処方実態を把握することが可能にしています。

**通知が届いた方は、通知を持ってかかりつけ医、かかりつけ薬局で相談しましょう！**

～通知対象者のメリット～

- ①有害事象の改善による副作用防止と重症化防止
- ②薬削減による窓口負担額の削減
- ③薬情報の一元化
- ④必要ない薬・残薬の解消
- ⑤自分で服薬する薬を自分の意志を持って相談できる

